

【別冊】

# 総務教育常任委員会資料

(平成27年3月10日)

- ・鳥取県の地方創生総合戦略（骨子素案）について . . . 1

未来づくり推進局



# 鳥取県の地方創生総合戦略（骨子素案）について

平成27年3月10日

企 画 課

平成27年2月12日に鳥取県議会全員協議会において報告した「鳥取県の地方創生総合戦略に盛り込むべき事業例（素案）」について、2月議会における議論や市町村等との意見交換を通じて頂いた意見を踏まえ、別添のとおり地方創生総合戦略（骨子素案）をまとめたので報告します。

## 1 意見交換の状況

### (1) 第2回鳥取創生チーム会議

各市町村や商工団体、労働者団体、金融機関、大学、マスコミ等を交えた、第2回の鳥取創生チーム会議を開催し、「鳥取県の地方創生総合戦略に盛り込むべき事業例（素案）」の内容について意見交換を行いました。

- ・ 東部会議 平成27年2月18日（水）
- ・ 中部会議 平成27年2月24日（火）
- ・ 西部会議 平成27年2月20日（金）

### (2) とっとり創生若者円卓会議

県内の高校生・大学生や農林水産業、観光業従事者、マスコミやNPO等で活躍する若者を一堂に会して、本県の地方創生の方向や必要な施策について意見交換を行いました。

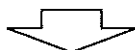
- ・ 開催日時 平成27年3月8日（日）
- ・ 場 所 鳥取県立図書館 2階 大研修室

## 2 今後のスケジュール

4月～ 鳥取県の地方創生総合戦略（案）の策定に向けた内容検討

- ・ 鳥取創生チームでの意見交換
- ・ 各市町村における地方創生総合戦略（骨子）の反映
- ・ 産学金官労言など関係団体等（女性・若者を含む）との意見交換
- ・ 各部局単位での関係団体等との意見交換

地方人口ビジョンに定める人口目標等の検討  
具体施策、目標指標（KPI）の検討



地方創生総合戦略（案）議会報告  
パブリックコメントの実施



9月 9月定例県議会で鳥取県地方創生総合戦略（案）、地方人口ビジョンを報告

10月 鳥取県地方創生総合戦略の完成



# 鳥取県の地方創生総合戦略

## (骨子素案)

平成27年3月

# 鳥取県の地方創生総合戦略（骨子素案）について

## 1 位置付け

平成27年2月12日に開催された鳥取県議会全員協議会に示した「鳥取県の地方創生総合戦略に盛り込むべき事業例（素案）」を基に、県議会での議論や鳥取創生チームにおける市町村等との意見交換を通じた意見を盛り込み、現時点での今後取り組むべき方向性を解りやすく表現したものである。

この骨子素案を基に新年度から幅広く意見交換を行い、平成27年の秋を目途として県版の地方創生総合戦略の成案とする。

## 2 構成

本県の強み・特性を踏まえて、次の3分野を設定。

I 大いなる自然の恵みに生きる

II ぬくもりの絆に生きる

III ゆったり刻む時を生きる

# I 大いなる自然の恵みに生きる

鳥取県には、都会には無い豊かな「自然」があります。  
鳥取砂丘や浦富海岸をはじめ世界に認められた山陰海岸ジオパーク、自然体験の地としての大山・三徳山などの豊かな自然と、その自然が育ててきた高品質な農林水産物は鳥取の大きな魅力となっています。  
これらの世界に誇る本県の自然や地域の魅力を活かして、鳥取の元気をつくります。

## 1 観光・交流

自然を活かした観光資源の魅力向上や観光客の受入れ拡大、多様なニーズに対応した観光・交流の拡大に取り組みます。

### 【具体的な取組例】

- ・鳥取砂丘や山陰海岸ジオパーク、大山・三徳山など豊かな自然とともに食や温泉を楽しめる滞在型観光・周遊観光の推進
- ・大山開山1300年や国際シンポジウムの開催等を契機とした戦略的な情報発信と観光誘客
- ・鳥取ならではのエコツーリズム・スポーツツーリズムを推進する体験メニューの造成と受入れ態勢の整備
- ・多様な旅行形態の個人旅行者へ対応する、鳥取の観光の魅力を届ける情報発信と誘客キャンペーン、着地型の観光メニュー造成など対応強化
- ・外国人観光客に対応したWi-Fi整備・観光二次交通の充実・多言語対応、買い物物の利便性の向上や宗教上の対応など受入れ環境の整備
- ・鳥取県が誇る食材やまんがコンテンツを活用したクールジャパンの取組による誘客の推進
- ・スポーツイベントや合宿の誘致、鳥取の自然を活かした教育旅行の誘致を拡大

## 2 農林水産業

農林水産物の高付加価値化や販路の拡大、収益性を高める取組を進めると共に、新規就業者を増やします。

### 【具体的な取組例】

- ・新品種の開発や新技術の開発、健康維持につながる機能性食品の開発など、農林水産物の高付加価値化の推進
- ・収益性の高い畜産経営を目指す酪農基幹牧場の整備や、原木搬出量の増加につながる搬出道の整備と機械化など、産地力強化につながる基盤の強化
- ・新規就業者の増加対策と定着に向けた取り組みの推進、女性・企業などの多様な担い手の育成・参入の拡大
- ・豊かな農林水産物と県内技術（シーズ）を結びつけた商品開発など6次産業化・農商工連携の推進
- ・東南アジアなど成長著しい海外市場をターゲットとした農林水産物・加工品の輸出拡大
- ・トップブランドの創出など食のみやこ鳥取ブランドの情報発信や首都圏・関西圏等での販路拡大
- ・農林水産物や食文化など地域の魅力を活かしたふるさと名物の開発・販路開拓の推進

## 3 エコスタイル

鳥取の自然を癒やしの場や教育の場として活用すると共に、自然環境に配慮した地域をつくりま

### 【具体的な取組例】

- ・「森のようちえん」をはじめとした、本県の自然の中で遊び学ぶ、魅力ある子育て・教育の推進
- ・農林水産物や水など里山資源を有効活用した経済活動の活性化
- ・森林セラピーなど豊かな森林自然を活かした癒しの地域づくり
- ・自転車道の充実やガイド育成など自然を活かした観光誘客につながる受入れ環境の整備
- ・木質バイオマスや温泉熱・風力・太陽光など自然エネルギーの利活用
- ・再生可能エネルギー等を活用した電力や熱を効率的に供給する取組の推進

## Ⅱ ぬくもりの絆に生きる

鳥取にはあたたかくて強い人と人との「絆」があります。

ボランティア活動への参加率が高く、人と人、人と地域との結びつきが強い「顔の見えるネットワーク」が存在しています。

こうした本県の強い絆を活かしながら、子育てしやすい環境づくりや人材育成を進めるとともに、共に生きる社会をつくりまします。

### 1 出会い・子育て

結婚につながる取組や子育て世代の負担の軽減、安心できる子育て環境の創出などにより、子どもを持ちたい希望が叶う社会をつくりまします。

#### 【具体的な取組例】

- ・市町村と連携した保育・医療など子育て世代の経済的な負担の軽減
- ・妊娠期から子育て期までの支援をワンストップで行う子育て世代包括支援センターの整備
- ・結婚希望者の希望が叶い未婚化・晩婚化の解消につながる結婚の出会いの場づくりと情報提供
- ・妊産婦が地域で安心して出産に臨むことができる環境の整備
- ・住民ニーズに基づく円滑な保育園・幼稚園・認定こども園の体制充実と、市町村と連携した保育士等の加配など保育サービスの充実
- ・子どもの看護休暇取得の推進や病児・病後児保育の拡充
- ・共生ホームの拡大など地域で子育てする体制の充実
- ・学校支援ボランティアなど子どもの成長を地域全体で支える環境づくり

### 2 人財とっとり

地域に誇りと愛情を持ち、産業を担う人材育成を推進すると共に、多様な主体が生き活きと活躍する社会をつくりまします。

#### 【具体的な取組例】

- ・県内企業のニーズに対応した技術・技能を中心とした人材育成・確保の推進
- ・企業インターンシップの実施などキャリア教育による、社会的に自立するための基盤となる能力の育成や、県内企業・産業への理解を進め、ふるさとでの発展に貢献できる人材の育成
- ・地域と連携・協働した教育環境の充実
- ・地域に誇りと愛情を持ち、地域への貢献につながるふるさと教育の推進
- ・ICTを活用した協調学習やアクティブラーニングなど質の高い教育の推進
- ・地元大学の機能強化・魅力づくり、県内大学生の地元就職への支援
- ・若者・女性・高齢者・障がい者などの多様な主体の活躍の推進
- ・ボランティア活動などの希望者と団体やNPOなどとのマッチングによる活動の拡大

### 3 支え愛

多様な主体の支え愛による安心で笑顔のあられる地域をつくりまします。

#### 【具体的な取組例】

- ・人と人との絆やコミュニティにより元気で安心をつくる支え愛運動の推進
- ・障がいを知り共に生きるあいサポート運動の更なる拡大
- ・地域コミュニティが主体となった防災・防犯活動の推進
- ・農山村体験や集落環境保全活動への参加など中山間地と都市住民との交流拡大
- ・企業等と連携した買い物や生活サービスなど多機能なサービス拠点の創出
- ・地域の実情を踏まえた多様な生活交通ネットワークの構築
- ・廃校など遊休施設を活用した新たな地域コミュニティの拠点づくり



### Ⅲ ゆったり刻む時を生きる

鳥取には心豊かな暮らしを実現できる「時」があります。

東京など大都市から地方へ移住したい理由となっている「スローライフ」など魅力ある職住近接型の生活スタイルが実現できます。

こうした暮らしができる本県の魅力を全国へ発信し、都会からの人の流れをつくり出すとともに、産業振興・雇用創出や魅力あるまちづくりを進めます。

#### 1 移住・定住

鳥取県への移住の魅力を高め、受入れ環境や情報発信などにより移住の拡大を目指すと共に、県出身の若者などのUターン促進や新たな移住形態を促進します。

##### 【具体的な取組例】

- ・ 移住希望者の暮らしに対する総合的支援の充実
- ・ 多様な移住ニーズに対応する移住相談体制の充実
- ・ 都市部の若者に対してとっりの暮らしの魅力を伝える戦略的な情報発信
- ・ 国内外のアーティストや専門的人材など多様な人材の移住促進
- ・ 地域住民や団体による移住者を支えるネットワークづくりの推進
- ・ 県外学生のUターンにつながる就職情報提供の充実や企業インターンシップの推進
- ・ 既存住宅の活用によるお試し住宅や、地域活動の拠点としての利用促進
- ・ 鳥取県版CCRC「いきいき長寿の里」づくり

#### 2 働く場

都会とは異なる本県のコンパクトな県土による職住近接型の時間の流れを強みとして、企業が目指す様々な挑戦への支援や人材育成などを通じた産業振興と雇用の拡大を推進します。

##### 【具体的な取組例】

- ・ 次世代デバイスや医療機器、ICT活用など新たな成長産業の創出
- ・ 産学官の連携による新産業の創出や新分野への進出拡大の促進
- ・ 県内中小企業の経営革新及び新事業展開に対する各企業の成長段階や経営戦略に応じた総合的な支援
- ・ 金融機関や支援機関等と連携した創業支援、円滑な事業継承など総合的かつ集中的な支援の推進
- ・ 国内外の新たな需要獲得に向けた商談会や物産展の開催、情報の収集・提供などによる商圏拡大の推進
- ・ 地域への波及効果、産業集積の活用、国内外の経済情勢への対応などを考慮した戦略的な企業誘致の推進
- ・ 高度・専門的な技術をもつ人材のI・JUターンの促進
- ・ 国と県の就業支援機関の集約など国の機関との一体的運営を通じた雇用の拡大
- ・ 人材不足業種に対する的確な情報提供、イメージアップ、処遇改善等を通じた雇用ミスマッチの解消
- ・ 双方向の就職情報提供による企業と学生とのマッチングの促進
- ・ 企業向けセミナーや就業者への相談対応等を通じた仕事と家庭が両立できる職場環境づくりの促進

#### 3 まちづくり

地域振興の拠点形成やまちの玄関口の整備、文化芸術振興などのにぎわいづくりや、高速情報基盤の整備、地域間の連携を進めます。

##### 【具体的な取組例】

- ・ 魅力あるまちの玄関口（駅前商店街、空の駅）づくりや中心市街地等に若者が集うにぎわいの創出
- ・ 道の駅や空き校舎などを活用した小さな拠点づくり
- ・ アートにより地域の誇りを育み人を呼び込む「アートピアとっとり」の創造
- ・ 地域に伝わる伝統芸能活動や文化遺産等地域資源の活用による地域内外との交流を通じた地域振興
- ・ 光ファイバー網や携帯電話高速データ通信環境など高速情報基盤の整備
- ・ 圏域内や県外との地域間連携の推進

# 鳥取県将来推計人口の試算

## 1. 鳥取県の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)と同様の方法で、2013年を基準とした社人研より新しい数値を用いて推計を実施。

推計条件

- ① 基準人口: 2013年10月1日現在(鳥取県年齢別推計人口)
- ② 合計特殊出生率: 1.62(2013年数値)が今後も続くと仮定
- ③ 社会移動の状況: 直近5年間の社会移動が今後10年かけて半減
  - ・移動の基準期間…2008～2013年(社人研:2005～2010年)
  - ・遞減方法…今後10年かけて移動率を約0.5倍に遞減し、その後一定(社人研と同様)

(2040年) 455千人 } ①  
(2060年) 354千人 } ②

## 2. 将来推計人口のシミュレーション結果

1の推計をもとに、推計条件(出生率と社会移動の状況)を変化させたシミュレーションを実施。

### 合計特殊出生率が上昇した場合

(2013年: 1.62 → 2020年: 1.8 → 2030年: 2.07[国目標より10年前倒し])  
 <参考: 国の出生率設定>: 1.6程度[2020年] → 1.8程度[2030年] → 2.07[2040年]

(2040年) 476千人  
(2060年) 397千人

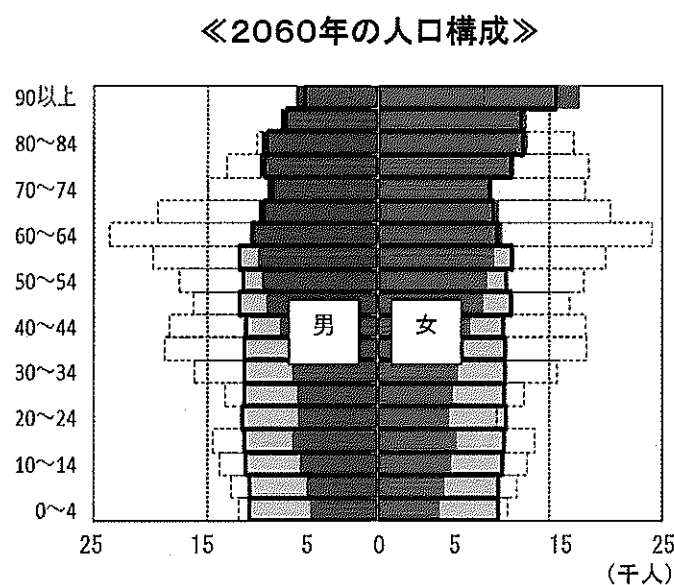
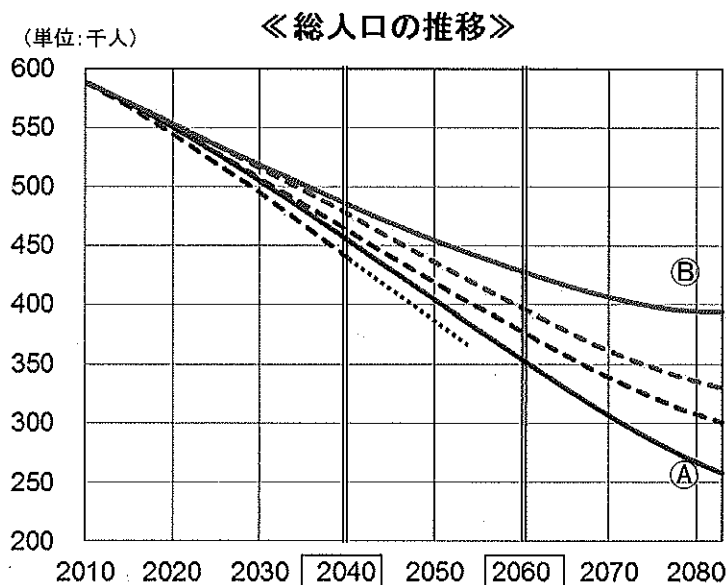
### 10年後に社会減がなくなった場合

(2023年にかけて移動率を約0.5倍に遞減し、2023年以降は社会増減ゼロ)

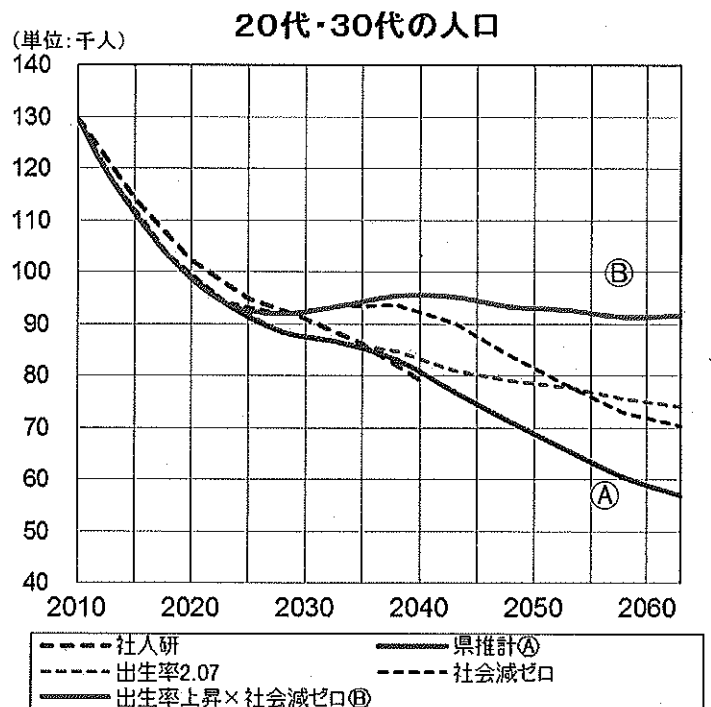
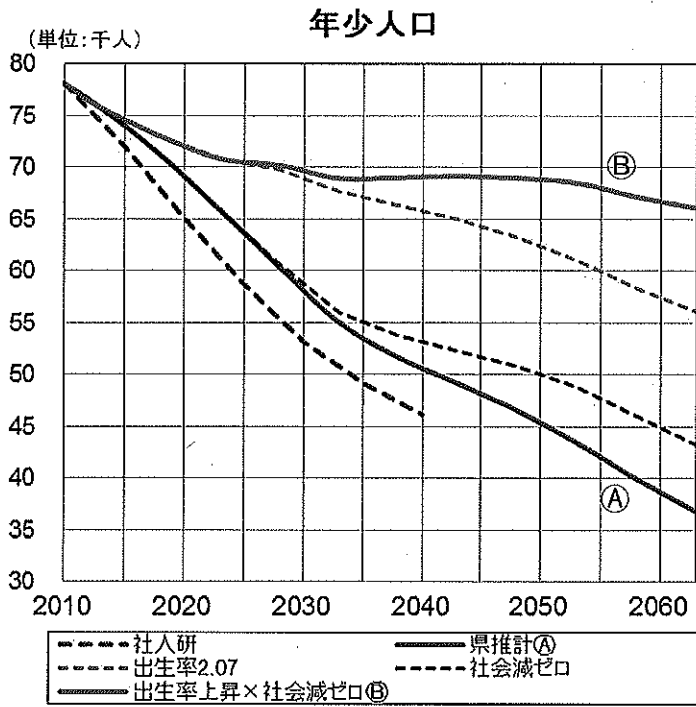
(2040年) 463千人  
(2060年) 377千人

### 合計特殊出生率が上昇、かつ10年後に社会減がなくなった場合

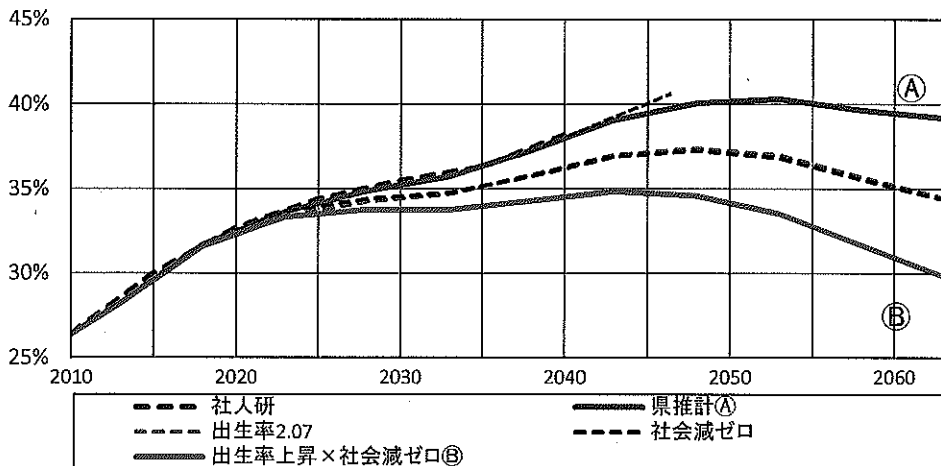
(2040年) 485千人 } ②  
(2060年) 428千人 }



## ＜参考：人口シミュレーションの結果概要＞



### 高齢化率の推移

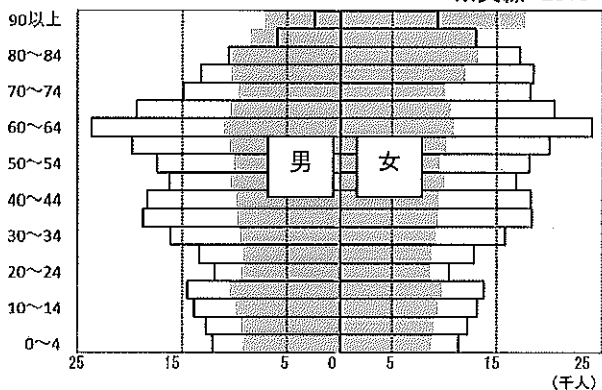


## ＜2060年の人口構成＞

＜合計特殊出生率が上昇した場合＞

総人口: 397千人

※実線 2013年



＜10年後に社会減がなくなった場合＞

総人口: 377千人

※実線 2013年

